

**第 5 回 あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会
議 事 要 旨**

1 開催日時

令和 2 年 2 月 19 日（水） 午後 7 時 00 分～午後 7 時 45 分

2 開催場所

市役所 5 階 503 会議室

3 出欠席

出欠	氏名	所属
出席	鈴木 裕介	明星大学 人文学部福祉実践学科
出席	森川 秀臣	市民の代表
出席	鳥海 弘子	市民の代表
出席	◎ 下村 智	あきる野市医師会
出席	大塚 秀男	秋川歯科医師会
出席	○ 倉田 克治	あきる野市社会福祉協議会
出席	石村 八郎	あきる野市民生児童委員協議会
出席	伊東 満子	あきる野市健康づくり市民推進委員会
出席	伊藤 元聡	あきる野市民間保育園園長会
出席	河井 章子	あきる野市障がい者団体連絡協議会
出席	今 裕司	あきる野市介護事業者連絡協議会
出席	太田 勝久	あきる野市高齢者クラブ連合会
出席	永田 弘行	青梅公共職業安定所
欠席	小林 啓子	東京都西多摩保健所

◎:委員長 ○:副委員長

事務局：川久保健康福祉部長、細谷生活福祉課長、田中生活福祉課庶務計画係長、
庶務計画係木崎、庶務計画係三田

コモン：相澤、鷹野

4 内容

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 協議事項
 - ①計画書（最終案）について
 - ②概要版について
- (4) その他
- (5) 閉会

【資料】

- 概要版及び計画書の修正内容
- あきる野市地域保健福祉計画 概要版 最終案
- あきる野市地域保健福祉計画 最終案

5 議事録

事務局 会議開催の前に、委員の変更がございましたので、委嘱をさせていただきます。令和元年12月1日の民生・児童委員の一斉改選に伴いまして、溝口正恵委員が退任されたため、後任として石村八郎様に委員をお願いすることとなりました。健康福祉部長より委嘱状の伝達を行わせていただきます。

－石村委員へ委嘱状の伝達－

事務局 石村様、一言、自己紹介をお願いします。

委員 あきる野市民生児童委員協議会会長を仰せつかりました石村と申します。いろいろご指導いただきたいと思います。よろしくお願いします。

(1) 開会 生活福祉課長

(2) 挨拶 委員長

(3) 協議事項

① 計画書（最終案）について

委員長 協議事項に入ります。初めに、計画書最終案について、事務局から説明をお願いします。

事務局 まずパブリックコメントについてご報告をさせていただきます。パブリックコメントは、今同時に策定作業をしています子ども・子育て支援事業計画、自殺対策推進計画、総合計画基本構想を合わせた4つの計画について、令和2年1月15日から2月4日までの3週間実施しました。1月15日号の「広報あきる野」に掲載するとともに、ホームページで周知をし、生活福祉課の窓口、市役所4階の情報公開コーナー、また五日市出張所、中央公民館、4つの図書館に設置させていただきました。パブリックコメントの期間を終えましたが、特に意見等はございませんでした。

それでは、別紙1の概要版及び計画書の修正一覧をご覧ください。1月20日付で委員の皆様へ郵送で、冊子を送らせていただきました。その段階から本日までの間に修正した部分について、まとめています。

12月に福祉文教委員会で報告をさせていただいた際に、「かかりつけ薬剤師についても記載するべきではないか」というご意見がありましたので、最終案の56ページ、3つ目の黒丸に、「市民が安心して医療機関に相談できるよう、健康教育の場などで、かかりつけ医、かかりつけ歯科医とともに、かかりつけ薬剤師・薬局を持つことの重要性の周知を行います」と修正させていただきました。また、本日お配り

しましたカラーの最終案につきましては、コモン計画研究所の方で写真など追加していただき体裁を整えています。コモン計画研究所から説明をお願いします。

コモン パブリックコメントの後に、あきる野ボランティア・市民活動センター、計画策定のためのアンケート調査、地域包括ケアシステム、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会、成年後見制度について、それぞれ関連するページに、コラムということで囲みの記事を追記いたしました。また、余白を利用して、市から写真等を提供していただき、追加しています。加えて用語解説に、生活支援コーディネーター、成年後見制度、地域包括ケアシステム、利用者支援事業という4つを、新たに加えさせていただきました。パブリックコメントについては、ご意見はありませんでしたが、実施したということを残しておくために、93ページにパブリックコメントの実施期間や閲覧の場所、ご意見の提出方法など実施状況を記載しました。新たに追加したのは以上です。

委員長 ご意見・ご質問等ありましたらお願いします。

委員 最終案の57ページ、黒丸2つ目に「医療・介護地域連携支援センターの活動を支援します」とありますが、青梅市では市の事業に移ったと聞いております。大体西多摩では市の事業になっていると思うのですが、これは5年間の計画ということで、今後状況が変わることがあるのでしょうか。非常に活発に活動している事業ですので、特に質問しました。

事務局 医療・介護地域連携支援センターは、市の委託事業で実施しておりますので、「支援」ではなくて「推進していく」という表現に変えさせていただきます。

委員長 ほかにご意見はありますか。

委員 介護保険事業計画の事業がこれから始まるわけですが、例えば、48、49ページの計画の体系をそこに載せていただくと、関わる人がどこで動いているのかわかりやすくなると思います。羽村市の計画には掲載されているので、ご検討ください。

事務局 来年度、第8期の介護保険事業計画、また障がい者福祉計画を策定する予定になっていますので、各計画との関連性を、各計画の中に表現できるように検討させていただきます。

② 概要版について

委員長 概要版について事務局から説明をお願いします。

事務局 概要版は、A3・2つ折り、見開きという形です。前回の第4回策定・推進委員会でもいただいたご意見をもとに、第2章の下のところアンケートの結果などを入れ、後ろの方のPDCAサイクルはボリュームを少し抑え、重点施策についてしっかりお伝えできるような形に修正いたしました。このほかにアンケート調査の報告書を別冊でまとめましたので、計画書の完成版と概要版とともに後日、お手元に郵送させていただきます。説明は以上です。

委員長 質問がなければ、(4)その他に移ります。

(4) その他

事務局 今皆様にいただいたご意見を踏まえ、もう一度修正をさせていただいて、最終案をまとめさせていただきます。最終案は2月26日(水)の午後7時から、下村委員長にご足労いただき、市長に報告をさせていただく予定です。市長への報告が終わりましたら、市長決裁を経て印刷・製本となります。印刷の際は、文字の大きさや色合いなどを調整、変更するなど、軽微な修正があるかもしれませんが、その際には下村委員長一任で行うことをご了承ください。

今年度の策定・推進委員会は、今回で終了となります。いろいろな分野の方からご意見をいただく機会はなかなかないので、とても勉強になりました。今後の5年間にまた生かしていけたらと思います。ありがとうございました。

委員の皆様には2年間の任期をお願いしています。来年度は、この計画の推進を図るために、進捗状況等について市が自己評価したものについて、委員の皆様の評価をしていただきたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

一 事務連絡(来年度の開催予定、議事録の公開等)

委員長 「はじめに」の挨拶がないので、最初にご覧になってびっくりされたと思いますが、これについて事務局と私に一任させていただいてもよろしいでしょうか。ほかに何かなければ議事を終了します。司会を事務局にお返しします。

事務局 皆様ありがとうございました。本日で今年度最後となりますので、委員の方々から一言ずつ、感想やご意見など述べていただければと思います。

委員 障がいの部の方から参加させていただきました。去年の春から、一緒に住んでいる高齢の両親が、見守りネットワーク、地域づくり、医療と介護の連携などに直面しております。両親のことを頭の片隅に置きながら参加させていただきました。あきる野市がこれからもっと活発になって、私たち家族もまた幸せに過ごせて、「いい市だな」と思えたらよいと思います。お世話になりました。

委員 市民の代表として参加させていただきました。今コロナウイルスが流行っていますが、教えている大学でも学生に不安が大きいです。ここから先、あきる野市でどのように感染が広がっていくかわからない中で、小さい子どもからお年寄りまで元気で過ごせるように、関わっていきたいと思っています。この会で学ばせていただいたことをまたいろいろな形で貢献できたらと思っています。本当にありがとうございました。

委員 広報で委員募集を見て、あまり保健福祉に関心はなかったのですが、何かの形で市政に関わりたいと思っていたので、作文をした結果、市民の代表として選んでいただきました。保健福祉は、私にとっては捉えどころのないもので、どの程度意見を出すことができるか、不安がありました。約1年間、5回出席させていただいて、もう少し積極的な提案ができればよかったというのが今の感想です。これからも市の活動の中に入っていきたいというのが今の心境です。切磋琢磨して、いろいろ勉強して、意見交換をしていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。ありがとうございました。

委員 あきる野市を全く知らない中、いろいろ勉強させていただきながら参加しました。この1年間を通して、非常に素晴らしい計画が出来上がったというのが私の感想で

す。今、社会福祉士は、地域福祉計画について勉強するカリキュラムになっているので、この経験を講義に生かしていけたらと思っております。ありがとうございました。

委員 歯科医師会の代表として参加させていただきました。保健福祉とは直接関係ないかもしれませんが、一番小さい関わりとして隣組が12軒あります。隣組同士も高齢になり、いろいろできない方も出てきているのですが、1軒も抜けずに現在も続いています。倉田委員が時々、一番小さいものの大事さを説明なさっていますが、そのとおりだと、最近特に感じています。ありがとうございました。

委員長 拙い司会で時間をオーバーしたこともありましたが、ご協力、本当にありがとうございました。この1年間、議長を務めながらこの計画をつくる上で考えたことは、ベストセラーにもなりました「LIFE SHIFT」や「WORK SHIFT」、いわゆる100年時代をどう生きるかということが言われている中で、ライフステージである、教育、就労、そして退職、その後という形の人生設計を、このような都市計画の中にどのように組み合わせてつくるかでした。そういうことを市民として、一役員としてここに出て勉強させていただいた中で、一番思うのは、地域で生きるということ。地域での医療、介護、子どもたち、障がい者、そういう人たちをいかに地域で守っていくかということ。そのために我々が行わなければいけないのは、お互いにみんなが参加できるような形の社会をつくり上げること。それには、どのような観点が必要か、今回の計画を通して勉強させていただきました。医師会の方でもそのような働きかけができればよいと思っています。1年間、皆様本当にご苦労さまでした。

委員 私は民生委員として10年目に入りますが、こういう会議は今日、初めて参加させていただきました。地域福祉は大変幅広く、私が民生委員を担当している中でも、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い対象者がいらっしゃいます。今後はいろいろな本に目を通していただいて、参考にできればと考えています。よろしく願います。

委員 健康づくり市民推進員をしています。推進委員だけでなく、町内会長をはじめ、民生委員、ふれあい委員、みんなで声をかけて、地域の横のつながりを持って健康づくりをしていかないとなかなか広められないと感じています。まだ少ないですが、最初のころより、「健康のつどいを知っていますか」と聞くと、「知っています」「参加しています」という答えをいただいています。

この間、東京都から健康づくり市民推進委員会が団体部門優秀賞をいただきました。(拍手) あきる野市は、健康寿命で、女性は上位に、男性は1位から3位の間にいて、全体的に健康づくりに気を使っていると感じていますが、出てこれない、そこに行けないという方も相当いらっしゃることも感じています。足が弱くなると行けなくなるという話がありますので、行けない人が行けるようになるにはどうしたらよいかを考え、解決していけるようなまちづくりができればよいと思います。いろいろありがとうございました。

委員 初めてこのような委員会に参加させていただきました。ふだん保育園や子ども食堂など、子どもに対しての関わりが多いのですが、委員会に参加して、子どもから高齢の方までたくさんいる中での関わりを含めて、全てがあきる野市なのだということを改めて感じさせていただきました。これからも児童福祉の立場から協力できる

ところは協力させていただいて、あきる野市を盛り上げていけたらと思います。ありがとうございました。

委員 介護事業者連絡協議会から参加しました。基本的には高齢部門を中心に、遠慮なく意見を言わせていただきました。児童や障がいなどの分野があり、生活保護、生活困窮者であったり、去年の台風被害のような災害も含めて、我々が考えなければいけないことはたくさんあります。また、あきる野市は、東と西でかなりの違い、圏域によっても大きな違いがあります。その中でそれぞれの方がその人らしく生きることができ、何かがあった時に助けの声を上げられ、またそれを受けとめられる場所があるように、介護保険の事業者として、一市民として、どのように参画できるか、私自身も考えなければいけないし、この後の推進という部分では、市民一人ひとりにどのように伝えていけるか、考えなければなりません。国は「我が事・丸ごと」という言葉を使っていますが、まだまだ我が事にはいかない。自分の身に降りかからなければなかなか考えられないのは、私自身もそうですし、それが普通だと思うのですが、それでも少しでも自分のこととして考えて行動できるような人が増えて、この計画を推進していけたらよいと思います。いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

委員 ハローワーク青梅から参加しました。私は30年ぐらい前に秋川市野辺に4年ぐらい住んでいました。当時は市庁舎もレトロな建物でしたので、「ああ、立派な建物になったのだな」と思いました。私が勤めるハローワークは労働分野で、福祉とは背中合わせのような部分があります。あきる野市との連携事業で、生活保護受給者や生活困窮者、今福祉の世界にいらっしゃる方々がハローワークを訪れて、働き始めて、生活保護から脱却する方が年に何名もいらっしゃいます。最近窓口に来る人が少ないと思っていましたが、計画案の25ページを見ると、5年ぐらい前は生活保護受給者の中の20%ぐらいが「その他世帯」でしたが、今は10%ぐらいになっていて、高齢者や障がいを持った方が増えてきていると感じています。ハローワークは、今後福祉、労働に関わりなく、働きたいという思いに応えていけるように頑張っていきたいと思います。どうもありがとうございました。

委員 あきる野市高齢者クラブ連合会を代表して参加させていただきました。関係機関、市の各関係部署、多くの方々に見守られて高齢者クラブの活動があるのですが、これからは自分たちでできることは自分たちで行うという考え方に基づいて活動していかなければならないと、その方向に向かって頑張っています。なかなかそこに結びつくまでいきませんが、いずれにしても自分たちの力で、協働の力で、仲間の力で支え合う社会、そして、少しでも健康寿命を延ばす努力を続けようと思います。この施策を拝見して、むしろ私どもがそういう努力をしてこの一端を担えればよいと感じています。ありがとうございました。いい勉強になりました。

(5) 閉会

事務局 皆様、1年間本当にお疲れ様でした。また、下村委員長、スムーズな議事進行をありがとうございました。大変いい計画ができたと思っております。最後に、副委員長から閉会のご挨拶をお願いします。

副委員長 社会福祉協議会から参加させていただきました。社会福祉協議会は地域福祉を行っているので、共通しているところがあり、私自身も勉強させていただきました。私

は、社会福祉協議会で福祉を始める前は防災の方をしていました。中身は少し違いかもしれませんが、用語として、例えば、安全安心、お互いに支え合う、地域で暮らしを支えるなど、防災と共通点があります。自分の身は自分で守るということも大切ですが、私は「向こう三軒両隣」という言葉が大好きです。これは母から教わった言葉ですが、やはり地域があって、その地域でも本当に小さい、町内会、自治会、組単位とよくいいますが、それがうまくまとまっていくことによって、防災や健康福祉も出来上がっていくと思います。この計画をベースに私も社会福祉協議会の中で頑張っていきたいと思っています。皆様、本当に長い間大変ご苦勞さまでした。ありがとうございました。

事務局

それでは、以上をもちまして、第5回あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会を閉会します。ありがとうございました。